

2025年度 日本学生支援機構奨学金 説明資料

学部学生 申込用

< 定期二次採用 >

※ 申込にあたっては配布資料のほか、下記二次元コードから「給付奨学金案内」、「貸与奨学金案内」を必ず確認してください（以下、「〇〇案内〇ページ」は本資料を確認してください）。



※ 2025 年度からの制度の改正

多子世帯（扶養する子の数が3人以上）を対象に授業料等無償化の制度が始まりました（学力の審査基準あり）。

新規で多子世帯無償化を希望する方は給付奨学金を申請してください。

2025年9月

琉球大学 学生部 学生支援課 奨学金担当

奨 学 金 の 申 込 前 に

給付奨学金は、申込者と生計維持者の家計状況に基づき毎年支援区分が見直され、支給停止や支給額が変更される場合があります（[給付案内 36 ページ「適格認定（家計）」](#)参照）。

また、第一種奨学金を併用する場合、第一種奨学金の貸与月額が調整（減額又は増額）されますので注意してください（[給付案内 19 ページ](#)参照）。

【給付奨学金】

日本学生支援機構（以下「機構」といいます。）の給付奨学金は国による修学支援制度で、意欲と能力のある学生が経済的理由により進学及び修学の継続を断念することのないよう、原則として返還義務のない奨学金を給付するものです。

【貸与奨学金】

機構の貸与奨学金は、意欲と能力のある学生に対して教育の機会を保証し、将来、有為な社会人として成長することを期待し貸与しています。

貸与奨学金は返還義務があります。返還された奨学金は、後輩学生の奨学金に活用されます。

【留意事項（給付、貸与共通）】

(1) 提出書類は「期限厳守」

機構への手続の日程上、申込書類の提出（受付）までの期間が非常に短くなっています。書類の取り寄せは早めに行ってください（特に県外出身者は留意）。

(2) 家族と事前に相談

申込手続には多くの書類や複雑な計算が必要なものもありますので事前に家族と相談してください。

(3) 機構の奨学金は日本人学生が対象

外国籍の方も申込資格がある場合があります。在留資格の記載がある書類を学生支援課の奨学金窓口へ提示し、申込資格を満たしているか確認してください。

外国人留学生対象の奨学金については、国際教育課で担当しています。

(4) 「個人情報情報の取扱いについて」

機構は「個人情報情報機関」に加盟しており、奨学金申込時に「個人情報」の登録・提供に同意する必要があります。奨学金の返還を延滞した場合は、個人情報「個人情報情報機関」に提供・登録されたクレジットカードの利用停止や融資が受けられなくなります。また、延滞が長引く場合は法的措置が取られますので、家族と相談して申し込んでください。

(5) 大学からの呼び出し（電話等）には必ず応じること

奨学生に採用された者は、奨学金に関する説明会に参加し、毎年度義務づけられた必要な手続・書類の提出等を速やかに行ってください。これを怠ることで奨学生の資格を失い、受け取った奨学金の返還を請求される場合があります。

また、大学のホームページを普段から確認し、大学からの呼び出し（電話、メール等）には必ず応じてください。

《お問い合わせ》

琉球大学 学生部学生支援課奨学金担当（共通教育棟 1 号館 1 階）

〒903-0129 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地

TEL : 098-895-8136（平日 8:30～12:00、13:00～17:15）

《奨学金に関する情報》

琉球大学学生生活支援情報ホームページ

日本学生支援機構ホームページ



奨学金の申込手続き

【給付】

【貸与】

0. 配付資料

- (1) 「2025 年度 奨学金案内 ダイジェスト」(機構作成)
- (2) 「2025 年度 スカラネット下書き用紙 (給付・貸与共通)」(機構作成)
- (3) 「2025 年度 日本学生支援機構奨学金説明資料」(本冊子)

【給付】

【貸与】

1. 本資料の読み方

給付奨学金(多子世帯の授業料無償化含む)の申請希望の学生は【給付】、貸与奨学金の申請希望の学生は【貸与】の項目をよく読んでください。また、給付案内〇ページ参照、貸与案内〇ページ参照の記載は日本学生支援機構の「給付奨学金案内」、「貸与奨学金案内(大学等)」ですので一読し、各制度についても理解したうえでお申し込みください。右記二次元コードから確認できます。



【給付】

2-1. 給付奨学金・多子世帯無償化の制度概要

- (1) 給付奨学生として採用されてから正規の卒業時期まで、原則として毎月振り込み。
世帯の所得金額(給付案内 9 ページ参照)により支援区分が決定。支援区分により授業料減免額が異なる。また、支援区分、通学形態(自宅・自宅外)により給付月額が決定。
- (2) 多子世帯の対象となった場合は対象期間中の授業料、入学料が無償となる(収入による制限なし)。その他、給付月額や適格認定、審査基準等は通常の給付奨学生と同じ。
- (3) 適格認定(家計)(給付案内 36 ページ参照)や第一種奨学金の併給調整(給付案内 19 ページ参照)により、奨学金の支給停止、支給・貸与額の変更・調整があることに留意。
- (4) 審査基準
 - ① 家計基準 2024 年(1 月 1 日～12 月 31 日)の収入に基づく 2025 年度住民税情報
 - ② 資産基準(申込者と生計維持者の資産額の合計)
生計維持者の数に関わらず 5,000 万円未満(ただし、多子世帯無償化は 3 億円未満)
例) 多子世帯で第 II 区分、資産額 2 億円の場合 → 授業料無償化対象。月額給付無し。
 - ③ 学力基準
下記表参照。ただし、この基準に該当する場合でも在学中の学業成績等が給付案内 8 ページ掲載の表 2 の 1～3 のいずれかに該当する場合は、支給対象外となる。
※ ただし、災害・傷病等、やむを得ない事由があると認められる場合は支援対象。

申請者年次	学業成績等に係る基準
1 年次	次の①～③のいずれかに該当すること ① 高等学校等における評定平均値が 3.5 以上、又は入学者選抜試験の成績が入学者の上位 1/2 の範囲内 ② 高等学校卒業程度認定試験の合格者 ③ 「学修計画書」の提出を求め、学修の意欲や目的、将来の人生設計が確認できること
2 年次以上	次の①、②のいずれかに該当すること ① GPA(平均成績)が在学する学部等における上位 1/2 の範囲内 ② 前年度(前年次末)までに修得した単位数が標準修得単位数以上、かつ、「学修計画書」の提出を求め、学修の意欲や目的、将来の人生設計が確認できること ※ 採用基準となる GPA、修得単位数はともに「入学時から前年度(前年次末)までの累積」によって判定。 ※ 標準修得単位数以上でない者で「災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められる場合」は、標準修得単位数未満であっても、学修意欲を有することが確認できれば基準を満たしている見なす。

(5) その他の要件

① 大学等への入学時期等に関する要件（[給付案内 6～7 ページ参照](#)）

- ・高等学校等卒業年度の翌年度の末日から大学入学日までの期間が2年を経過していないこと
- ・高等学校卒業程度認定試験合格者（条件あり）

② 在留資格等に関する要件（日本国籍でない場合）（[給付案内 14 ページ参照](#)）

(6) 注意事項

- ① 支援は最短修業年限までです。長期履修生や学期の途中で休学したことがある者は支援の終了が卒業より早くなります。
- ② 以前、給付奨学金の支援を受けていて、再度申請希望する者は確認事項があるため、奨学金担当にご相談ください。なお、適格認定で「停止」、「廃止」になった者は再申請不可です。

【貸与】

2-2. 貸与奨学金の制度概要

(1) 奨学金の貸与月額等（[貸与案内 6～8 ページ参照](#)）

① 第一種（無利子）

学校の種類（大学、短大）・国公私立の別、通学形態（自宅、自宅外）別に設定。

給付奨学金受給者は給付奨学金の支援区分に応じて設定。

② 第二種（有利子）

2～12万円の間で「1万円単位」で選択可。

金利の種類は「利率固定方式」又は「利率見直し方式」のいずれかを選択。

※ 第一種及び第二種の両方を受ける場合（併用貸与）は、返還総額が多額となるので慎重に。

※ 併用貸与の収入基準は、第一種（又は第二種）のみの場合よりも制約あり。

(2) 入学時特別増額（有利子貸付。利用条件あり）（[貸与案内 13 及び 34 ページ参照](#)）

日本政策金融公庫「国の教育ローン」へ申し込んだが、利用できなかった世帯が対象。

(3) 家計基準（[貸与案内 12 ページ参照](#)）

生計維持者の **2024 年（1 月 1 日～12 月 31 日）** の収入に基づく **2025 年度** 住民税情報

（多子世帯・ひとり親世帯の場合は控除の対象）。

(4) 学力基準

申請者年次	種 類	学 業 成 績 に 係 る 基 準
1 年次	第 一 種 併用貸与	高等学校における学習成績の評定平均値が 3.5 以上の者 又は大学入学資格検定合格者
	第 二 種	本学入学試験の合格者
2 年次以上 (医学部医学科を除く)	第 一 種 併用貸与	前年度（前学年末）までの通算標準修得単位数を満たしている者で、学業成績平均点が 2.0 以上の者 ※ 各年次における通算標準修得単位数（124 単位の場合）は次のとおり （1 年次）31 単位 （2 年次）62 単位 （3 年次）93 単位 （4 年次）124 単位
	第 二 種	前年度（前学年末）までの通算標準修得単位数を満たしている者
2 年次以上 (医学部医学科)	第 一 種 併用貸与	専門教育科目の履修認定のための判定会議で合格判定を受け、かつ、学業成績平均点が 2.0 以上の者
	第 二 種	専門教育科目の履修認定のための判定会議で合格判定を受けた者

※ 第一種又は併用申請者については上記基準を満たさない場合であっても、非課税世帯（これに準ずる者）、生活保護受給世帯又は社会的擁護を要する者は別途基準がありますのでご相談ください。（[貸与案内 11 ページ参照](#)）

① 学業成績平均点の算出方法

- ・1 単位につき A 及び B を 3 点、C、P 及び R を 2 点、D を 1 点とします。

- ・学業成績平均点は、成績換算合計点を総単位数で除して算出（小数点以下第2位を四捨五入）。
- ② 推薦入学した1年次で、高等学校の評点平均値を本学が確認できない場合は、高等学校の成績証明書を提出してください。
- ③ 留年中の者は申し込み資格がありません。
- ④ 本学入学前に他大学で機構の奨学金を貸与していた者は、貸与できる奨学金の種類や期間に制限がありますので、学生部学生支援課奨学金担当に相談してください。

(5) 注意事項

- ① 支援は最短修業年限までです。長期履修生や学期の途中で休学したことがある者は支援の終了が卒業より早くなります。ただし、長期履修生は第二種奨学金のみ期間を延長できますのでご相談ください。

【給付】
【貸与】

3. 申込み手順

(1) 申込内容の準備

- ① 「大学等への修学支援の措置に係る学修計画書」（下書き用）
- ② 「スカラネット下書き用紙」を記入してください。

(2) 日本学生支援機構奨学金申請準備フォーム 入力

- ① 右記二次元コードから「日本学生支援機構奨学金申請準備フォーム」へアクセス
- ② 各項目を入力、送信（送信後は回答を保存推奨）



(3) 「学修計画書」提出フォーム 入力

- ① 右記二次元コードから「『学修計画書』提出フォーム」へアクセス
 - ② (1)-①を見ながら各項目を入力、送信（送信後は回答を保存推奨）
- ※(2)、(3)の入力期限は4.提出期限を参照



(4) 入力内容の確認（大学）

- 学生部学生支援課奨学金担当にて確認
- メールで「識別番号（ユーザーID・パスワード）を送付（1～2週間かかる場合があります）」
- 確認事項がある場合は別途連絡します。

(5) 申請書類の提出

- 学生部学生支援課奨学金担当。提出する書類は「5. 申込書類一覧」のNo. 2～8、または(2)-②の保存内容（「提出物について」）を確認
- ※(4)でメールを受け取ってから3営業日以内に提出

(6) スカラネット入力

- ① 右記二次元コードからスカラネットにアクセスし、(4)の「識別番号」と奨学金確認書兼地方税同意書に記載されている「申込ID」を用いて入力。
- 入力時には(1)-②を見ながら間違いがないように注意する。
- ② 入力完了時に「受付番号」が表示されるので「スカラネット入力下書き用紙」に転記



(7) マイナンバー提出（インターネット入力）

- スカラネット申込完了後に入れるようになるマイナンバー提出専用サイトにログインしてマイナンバーを提出する（給付案内31～35ページまたは貸与案内42～46ページ）。

(8) 奨学金確認書兼地方税同意書（黄緑色の封筒）の提出

専用封筒に入れ、機構へ簡易書留で郵送（(7)マイナンバー提出後、1週間以内に提出）
学生本人、生計維持者それぞれ自筆が必要（代筆不可）なので事前に準備

4. 提出期限・提出先

- (1) フォーム入力期間 **2025 年 9 月 16 日（火）～10 月 14 日（火） 期限厳守**
 (2) 提出書類関係 (5. 申込書類一覧の No. 2～8 について)
 ① 窓口提出期間 **パスワード受領後、3 営業日以内**
 ② 提出時間 平日 8:30～17:00 (12:00～13:00 を除く)
 ③ 提出先 琉球大学学生部学生支援課奨学金担当 (共通教育棟 1 号館 1 階) 提出 BOX
 〒903-0129 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地 TEL : 098-895-8136

※ 全ての書類が揃っていない場合でも、提出期限までに提出できる書類を提出してください (不備書類の提出期限は改めて設定。事前連絡なく遅れた場合は受付しません)。
 ※ やむを得ない事由がある場合は「奨学金担当宛」に郵送してください (期限厳守)。
 ※ 提出期限最終日は多くの者が提出するため確認に時間を要します。準備ができた方は期限を待たずに提出してください。

5. 申込書類一覧

申込に必要な書類は下記表及び給付奨学金案内・貸与奨学金案内を参考に十分に確認してください。
 「3. 申込み手順」の (1)～(8) まで全て終えることで申込完了となります。

No. 1 は簡易書留で日本学生支援機構郵送、その他は琉球大学奨学金窓口提出です。

対象	No	申 込 書 類	備 考
全員必須	1	奨学金確認書兼地方税同意書 ※JASSO に簡易書留で郵送。 大学窓口ではない点に注意	①黒いボールペンを使用 (鉛筆や消せるボールペンは不可)。 ②住所は (住民票に関わらず) 現在住んでいる住所を記入。 ③本人、生計維持者 1、生計維持者 2 の自署必須 (代筆不可) ④身元確認書類の詳細等については黄緑色の封筒内を要確認
	2	レターパックライト 430 (青色) (結果通知等の送付用)	①「お届け先」に自身の郵便番号・住所・氏名等を記入 ② 封をしないで提出 ※上記を守らない場合、再提出となることがあります。
該当者のみ	3	利用中又は過去に利用した日本学生支援機構奨学金の奨学生証等の写し	対象者 <過去に他学校で奨学金の利用がある学生> 奨学生番号が記載されている書類 (奨学生証や返還確認票等)
	4	1. 奨学金提出書類 (該当者のみ) (◆) 2. マイナンバーに代わる提出書類 (◆) ※学校担当者に事前相談	対象者 <マイナンバー情報提供を拒否する者> <2025 年 1 月 1 日時点で日本国内に住んでいない者>
	5	1. 奨学金提出書類 (該当者のみ) (◆) 2. 在留カード等のコピー 3. 出国記録の写し (原本)	対象者 <日本国籍以外で、在留資格が永住者・特別永住者、日本人の配偶者、永住者の配偶者、定住者、家族滞在等の者> ※「家族滞在」以外の者は 1. と 2. のみの提出。
	6	1. 新たに生まれた子等の数の申告書 (◆) 2. 母子手帳の写し等の根拠資料	対象者 <2025 年 1 月 1 日～同年 8 月 31 日の間に新たに扶養する子等がいる者>
	7	戸籍上離婚等をしていない場合又は生計維持者が学生本人 (または配偶者) の場合は事由書 ※学校担当者に事前相談	対象者 <生計維持者が戸籍上、離婚等をしていない者> <生計維持者が学生本人 (または配偶者) の者>
	8	1. 奨学金提出書類 (該当者のみ) (◆) 2. 施設等在籍証明書 (施設長発行) 3. 児童 (里親) 委託証明書 (児童相談所発行) 4. 措置解除決定通知書 (児童相談所発行) 5. 施設等在籍・退所証明書 (◆)	対象者 <社会的養護を必要とする人 (満 18 歳となる前日に児童養護施設等に入所して (養育または一時保護されて) いた者)> ※1. は提出必須、2. ～4. はいずれか 1 点の提出

(◆) の資料は琉球大学学生生活支援情報 HP 掲載しています。詳細についてはパスワード送付時のメールにてお知らせします

6. 転職により収入が減少した場合

貸与奨学金の家計基準は、マイナンバーにより取得した住民税情報により算出する貸与額算定基準額により審査（貸与案内 12 ページ参照）されますが、下記の条件を全て満たす場合は、転職後の収入を用いて審査（再審査）を受けることができます。（貸与案内 35～37 ページ参照）

- ☐ 2024 年 1 月 2 日以降に、生計維持者が「勤務先を変更した（定年退職による場合を含む）」又は「開業した」ことにより、収入が減少した。
※ 減収しただけでは転職と見なしません。
- ☐ マイナンバーにより取得した住民税情報に基づき選考した結果、第一希望の申し込み区分の家計基準を満たさず不採用となった。
- ☐ 「転職後に減収した収入により再審査を希望すること」について、奨学金申込時にスカラネットに必要事項を入力した。

＜転職後の収入を用いて審査を受ける流れ＞

(1) 奨学金担当へ申告

Forms により転職した者がいる旨を入力

(2) スカラネットの入力

該当項目に「再審査を希望する」旨を入力

(3) マイナンバー情報により家計審査

機構が審査

(4) 第一希望の奨学金が不採用

(5) 収入証明書類の提出依頼

機構から（大学経由で）収入証明書類の依頼

(6) 収入証明書類の提出

機構へ（大学経由で）収入証明書類を提出

(7) 提出した収入証明書類により再審査

機構が審査

(8) 選考結果の通知

大学を通じて連絡

＜留意事項＞

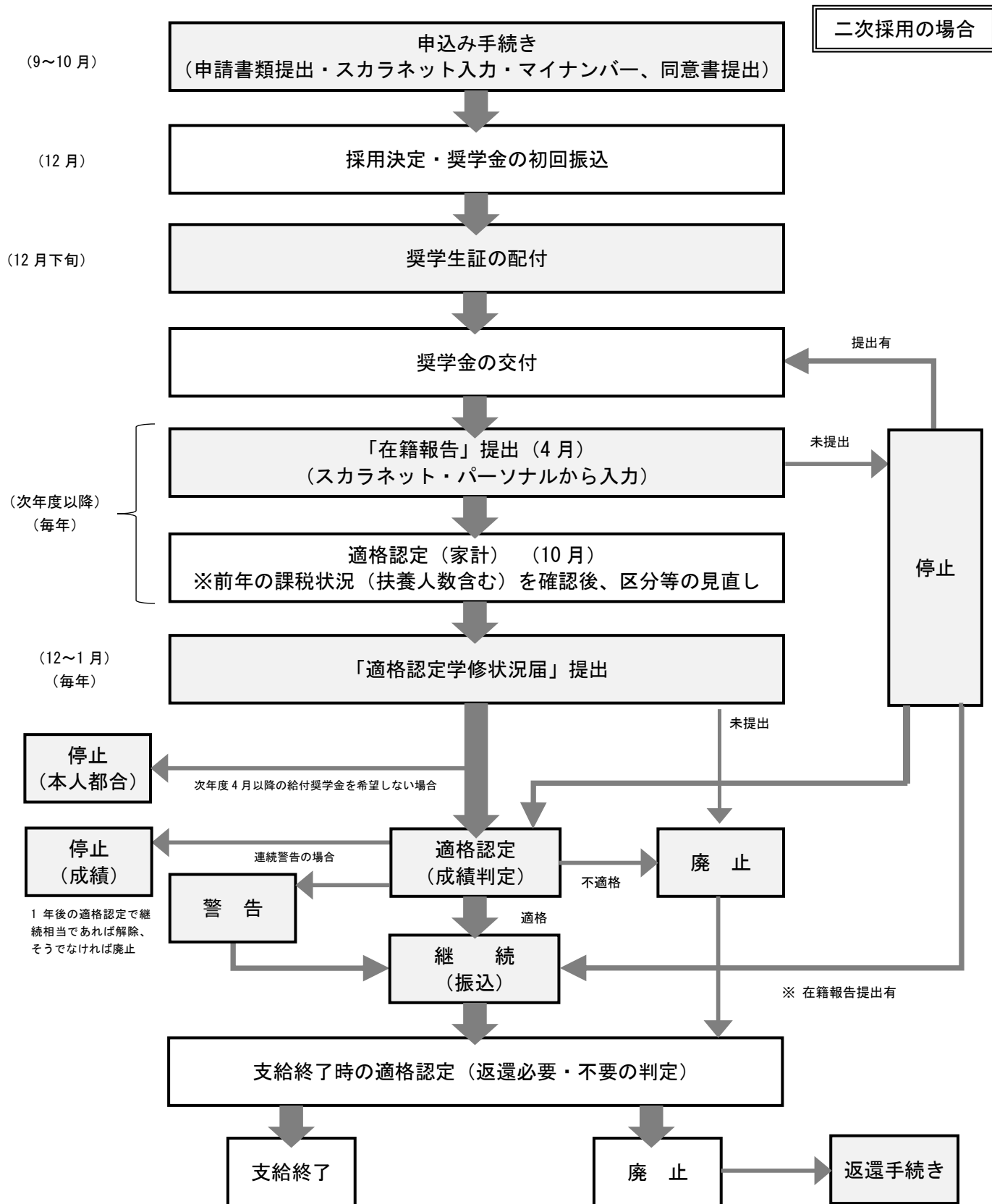
- (1) 申告に当たっては、「収入・所得の上限額の目安（貸与案内 12 ページ参照）」を確認してください。
- (2) 書面審査（再審査）は、マイナンバーによる選考結果が判明した後に行われます。通常に比べ、選考結果が判明するのが大幅に遅れる場合があります。

7. 採用決定通知

採用決定の連絡は、12 月上旬頃に大学メール [××××@cs.u-ryukyu.ac.jp] 又は郵送でお知らせします。大学メールを「通常利用しているメール」に転送設定する等して、案内を見逃さないようにしてください。

給付奨学金採用者には授業料等免除の申請事由の確認を行う予定ですので、漏れなく回答してください。

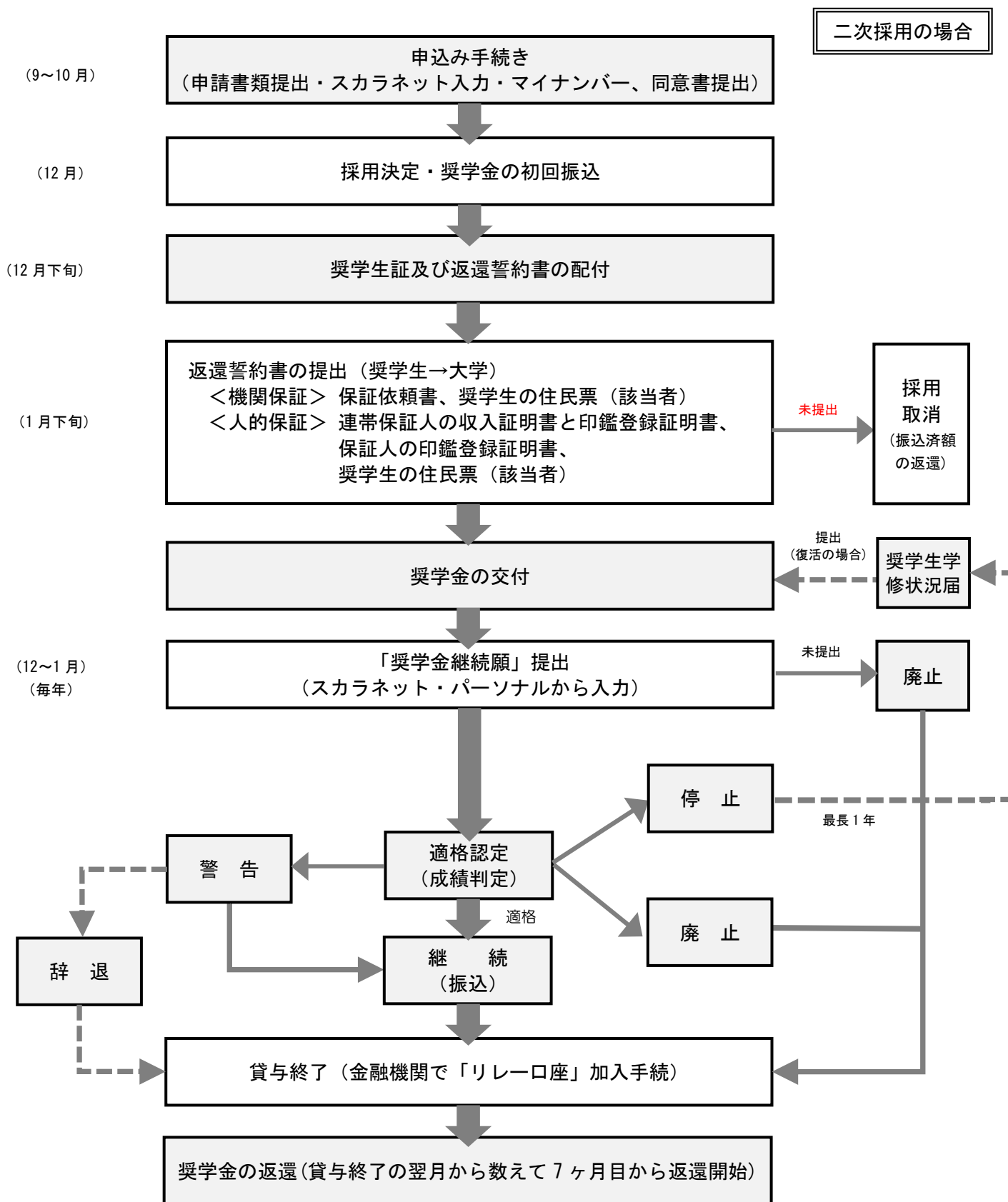
給付奨学金申込みから採用、給付終了までの流れ



※「在籍報告」の提出が遅れることで、奨学金が振り込まれない月が発生します。

※ 大切な手続きに関する情報は、大学公式ホームページや掲示板、個人宛大学メール (××××@cs.u-ryukyu.ac.jp) でお知らせします。

貸与奨学金申込みから採用、貸与終了までの流れ



※ 大切な手続きに関する情報は、大学公式ホームページや掲示板や個人宛大学メール (e××××@cs.u-ryukyu.ac.jp) でお知らせします。

※ 重要な情報を見落とし、必要な手続を取らないことで奨学生の資格を失いますことにご留意ください。